
中林賢二郎 年譜

- 1919（大正8）年1月17日 横浜市で父中林賢吾（日本放送協会常務理事）、母千代の二男として生まれる
- 1921（昭和6）年4月 愛知県第一中学校入学
- 1936（昭和11）年3月 愛知県第一中学校卒業
4月 第八高等学校入学
8月 第7回全日本ジュニア・テニス大会でダブルス優勝
- 1939（昭和14）年3月 第八高等学校卒業
4月 東京帝国大学文学部西洋兜学科入学
- 1944（昭和19）年9月 東京帝国大学文学部西洋史学科卒業
10月 財団法人東亜研究所入所
- 1946（昭和21）年3月 財団法人東亜研究所解散にともない退所
4月 国民経済研究協会嘱託となる
10月 財団法人政治経済研究所に入所、国民経済研究協会嘱託を辞任
- 1948（昭和23）年12月 松本倭子と結婚
- 1951（昭和26）年11月 財団法人政治経済研究所退所、世界労働運動研究協議会事務局に入る
- 1953（昭和28）年12月 長男賢一生まれる
- 1956（昭和31）年5月 世界労働運動研究協議会事務局を辞任し、中国、ソ連、オランダ、西ドイツなどに外遊（同年12月帰国）
- 1957（昭和32）年7月 社会主義経済研究所に入所

-
- | | |
|---------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 1959 (昭和 34) 年 10 月 | 中央労働学園講師を兼任, 「労働運動と統一戦線」の課目を担当、10 月から「国際労働運動史」を担当 1976 年まで 17 年間連続担当) |
| 1960 (昭和 35) 年 4 月 | 東京都立大学法経学部講師となり、労働問題の講義を担当 |
| 1961 (昭和 36) 年 | 労働者教育協会理事となる。 |
| 1962 (昭和 37) 年 4 月 | 中央労働学園理事となり、常務理事に就任 (～1964 (昭和 39) 年 3 月) 以後 1980 年まで理事 |
| 1965 (昭和 40) 年 3 月
4 月 | 社会主義政治経済研究所退所
法政大学大原社会問題研究所に入所 (兼任研究員)、『日本労働年鑑』の編集、執筆にたずさわる。 |
| 1966 (昭和 41) 年 3 月 | 法政大学大原社会問題研究所専任研究員となる |
| 1968 (昭和 43) 年 4 月 | 法政大学社会学部兼任講師となり、ゼミ担当。1969 (昭和 44) 年 ～1970 (昭和 45) 年労働組合論担当。 |
| 1971 (昭和 46) 年 2 月
4 月 | アムステルダム社会史国際研究所に留学 (同年 5 月帰国)
法政大学社会学部教授となり、社会問題総論担当。以後社会労働運動史など担当。 |
| 1974 (昭和 49) 年 12 月 | 第 1 回全法政教職員硬式テニス大会優勝 |
| 1976 (昭和 51) 年 3 月
4 月 | 法政大学大学院社会科学研究所社会学専攻委員会主任
法政大学社会学部長を務める (～1978 (昭和 53) 年 3 月) |

▽中林賢二郎 年譜

- 1980（昭和 55）年 4 月 法政大学在外研究員として、イギリス・ロンドン大学に留学、法政大学ロンドン分室長を務める（～1981（昭和 56）年 3 月）
- 1981（昭和 56）年 4 月 日本女子大学文学部社会福祉学科兼任講師となり、社会運動史担当。
- 1986（昭和 61）年 1 月 法政大学社会学部教授
法政大学大原社会問題研究所研究員
日本女子大学兼任講師
- 1986（昭和 61）年 1 月 11 日 東京都品川区旗の台の昭和大学病院で、午前 0 時 48 分、肺癌のため死去
享年 66 歳

『追憶 中林賢二郎』（1987 年 2 月）より作成。